



職場見学会「トップが語る」

10月24日(火)、本校1年生が企業見学を行いました。訪問した企業はいずれも大仙市にあるパワー大曲店、エイブリック株式会社、興栄建設株式会社で、施設内を案内していただくとともに、企業についての説明を受けました。

パワー大曲店

パワー大曲店では、多くのプライベート商品を扱っています。従業員の方々は、自分で売り場を設営した箇所の売り上げが良い時にやりがいを感じることや、企業理念である「人々の暮らしを幸せにしたい」を全ての従業員が理解して業務に携わることが大切であるということをお伝えしました。



今回案内してくれたのは工藤店長さん。とても広い資材置き場ですね。

■生徒からの質問

「季節ごとの売り場設営において気をつけていることは？」

■従業員さんの回答

「例えば、冬支度関連商品についてはお盆過ぎから品出しをしておくなど、季節を先取りした販売活動の展開が必要です」

すいぶんたくさん商品が扱っているんですね。



広い売り場を丁寧に紹介していただきました。みんな一度利用したことがあるおなじみのお店ですが、こんなに細かな気配りがされていたとは、従業員の方々に感謝です。



エイブリック株式会社

エイブリック株式会社で製造しているアナログ半導体は米粒よりも小さいもので、スマートフォンの過充電・充電不足の際にバッテリーを守る役割を果たしています。

また、特徴の1つとして「匠技術」という部署があり、ここでは商品生産における機械設備の設計を自社内で行っており、コスト削減に一役買っているとのことでした。



案内してくれたのは富樫さん。「いつも元気に笑顔で挨拶」が安全につながるそうです。

■生徒からの質問

「社内を移動するときに左側通行を徹底している理由は何？」

■従業員さんの回答

「出会い頭の衝突を避けるためであり、見えづらい箇所にはカーブミラーも設置しています。それから、以前、時計の部品を生産していた頃から左側通行であり、それが継続しています」

エイブリック株式会社さんは、大曲の花火とノーザンハピネットのスポンサーであること



を知り、身近に感じることができました。



BLI-G 2021-22シーズン OFFICIAL PARTNER
AKITA NORTHERN HAPPINETS

興栄建設株式会社

興栄建設株式会社は、鉄骨建築を主体とした総合建築会社です。鉄構部門では衆議院議員会館や高輪ゲートウェイ駅の建築に関わっているが、こうした仕事を着実にこなしていく中で、社の使命の1つである「東京の資金を秋田に引っ張ってくる」ことができるということや、建設業界全体の問題として高い離職率があり、その背景には3K（きつい・汚い・危険）と表現される仕事内容があるが、自分でやったことが形として残るこの仕事は魅力的で、誇らしいものであることを説明していただきました。建設業界や国土交通省はマイナスイメージを払拭し、人手不足を解消するため「新3K」という取り組みを行っています。新3Kとは「給与」、「休暇」、「希望」の3つです。この3つの環境を整備することで、中長期的な担い手確保が期待できるとして、各企業が取り組んでいます。

今回案内してくれたのは齋藤さん。ヘルメットをしっかりと被って！安全第一



非常に大きな鉄骨にびっくり。この写真で大きさは伝わるでしょうか？下の写真は、高輪ゲートウェイ駅外観。3年前に完成しました。



秋田県立農業科学館

昼食は、秋田県立農業科学館の一室を借りてお弁当を食べました。温室には、秋田では珍しい熱帯の植物がたくさんあり、鮮やかな花や木に触れることができました。広い敷地には花畑や果樹が植えられていて、開放感があり天気も非常によかったです。楽しめました。



■生徒の感想

「業種や会社によって気をつけている点は違うが、どの職場も挨拶（コミュニケーション）と安全第一を徹底しているなと感じた。これからの日常生活に取り入れたい」

「職場によっては、働く上で資格取得が必要だと知った。資格試験に積極的に取り組みたい」
 などありました。今回の企業見学は秋田の企業について理解を深めることができ、自分の進路を考える貴重な機会となりました。

一日かけてたくさんの方の話を集中して聞き、理解することはとても疲れた様子で、そういったこともいい経験になったのではないのでしょうか。企業の皆さんありがとうございました。